

1674

機密

新

基隆防備隊機密第三三號

昭和三十年一月五日

一月五日送付

基隆防備隊戰鬥詳報 第一號

自昭和三十年一月三日
至同 四日 對空戰鬥

基隆防備隊

24.2.4

一形勢

昭和十九年十二月未以来敵機動部隊ハ「マニラ」沖及台湾東方海面ニ出現ノ情報アリ殊ニBニ九八前数日未ニ機又ハニ機本島上空ニ偵察ニ未襲セル等空襲ハ必至ト認メラレ部下一同ニ訓示スルト共ニ對空並ニ防備ニ遺憾ナキヲ期セリ

二経過

(1)一月三日戦闘経過

(1)本隊並ニ各機銃砲臺

天候	時刻	記	事
晴	〇七四〇	空襲警報發令	友軍情況摘要
	〇七四〇	總員戦闘配置	
	〇八三五	カラムン戰鬥機九機基隆島上空ヨリ鼻頭角方ニ東進	
	〇八三八	敵機三七機蘇澳方面ヨリ基隆上空ニ進入解列	

〇八三〇	各砲台及機銃砲台艦船射撃開始二機撃隊二機撃
〇八三五	敵機東方ニ撃退
一〇三五	グラマン三機基隆上空
一〇三五	各砲台及機銃砲台艦船射撃開始台湾船渠ニ小形爆弾三個投下及機銃掃射
一一〇	敵機撃退
一三五五	敵グラマン二機野柳方面ヨリ飛来基隆上空ヲ終テ東南進
一三五八	グラマン三機基隆上空台湾船渠機銃掃射
一三五八	各砲台及機銃砲台艦船射撃開始
一四〇〇	敵機北方ニ撃退
一五二五	空襲警報第一種警戒警報解除

(四) 附屬艇

晴 二〇一三	三二三號駆潜特務艇ハ金令丸ヲ護衛シ三貂角ニ至ル途次鼻頭角ノ六〇度西三四哩ニ於テ敵機ニ二機ト交戦下士官兵三名戦死准士官一名下士官二名軽傷
	第三十二日東丸蘭陽丸揚梅丸錦水丸三六二三八三四三號駆潜特務艇ハ基隆港内ニアリテ交戦第三十二日東丸一機撃墜

(三) 派遣隊

晴 二〇一三	〇七二五 蘇澳特設見張所ハ敵機延二八八機ト交戦一機撃墜
	二機撃破

(2) 二月四日戦闘經過

(1) 本隊及機銃砲臺

		二〇一四	二〇一四
		〇五三〇	總員配置
		〇六〇〇	第一種警戒警報發令
		〇八〇〇	空襲警報發令
		〇八三五	敵機九機基隆島上空、社寮島ニ進入
		〇八三五	社寮島機銃砲台射撃開始
		〇八四五	敵機北方ニ撃退
		〇八五〇	敵機十三機、社寮島上空ニ未襲、基隆港外ニ磁氣機雷十數個投下(掃海戰報告別紙添)
		〇八五〇	社寮島機銃砲台射撃開始
		〇八五五	敵機撃退
		〇九三〇	浮舟ニテ漂流中ノ敵塔架員一名捕虜トシ基隆憲兵分隊ニ引渡ス
一五〇〇	空襲警報第一種警戒警報解除		

三 令達報告及通報		二〇一四 兩		二〇一四 兩		二〇一四 兩	
發信者	時刻	受信	記	事	種別	處	置
高警	二日 一三三五	一三五〇	台灣東海面第一種警戒警報發令				
淡水	一六〇〇	一六一五	全右解除				
高警	三日 一七〇〇	一七二〇	方位三六〇度距離四三浬小艇機三機旋回中 進行方向東				
高警	三日 〇七三〇	〇七五五	台灣東海面第一種警戒警報發令				
	〇七三〇	〇七五五	岡山地第一種警戒警報發令				

一五〇〇 第二種警戒警報發令

四 附屬

二〇一四

各艇交戦ナシ

派遣隊

二〇一四

ナシ

野柳	蘇澳	高警		尖山仔鼻	台灣司	淡水		
0850	0834	0830	0825	0825	0820	0815	0740	0735
		1145	0848		0830	0852		0755
金山上空「グラマン」三機基隆島上空三台	大編隊北進中	緊急通信通話制限トナセ	魚雷頭用沖ニ於テ船圍敵四機ト交戦中	水南洞沖敵機九機未襲除送船攻撃中一隻 專沈セリ	台灣全島敵機侵入	新目標方位三四〇度距離三〇料編隊ラシキ モノ近ク進行方向東	二機高雄上空八機岡山 三敵KDB末 襲ノ算ナリ嚴戒ヲ要ス	高警管区空襲警報発令 「グラマン」八機進行方向北西ニ敵艦爆
	電話		電話					

1891

尖山仔鼻	野柳	蘇澳	野柳	淡水	野柳	台武	〃	〃	野柳	〃	新竹
〇九四一	〇九四〇	〇九二〇	〇九五〇	〇九五〇	〇九四五	〇九四五	〇九四三	〇九四一	〇九二〇	〇九一〇	〇九〇五
						〇九五五					
敵機四機、二八〇度、高角、五度、基隆方面ニ 向フ	敵機見張所ヲ銃撃シ、基隆方向ニ向フ グラマン七機、七〇度方向ヨリ三〇度方向ニ 向フ	敵機見張所ヲ銃撃シ、基隆方向ニ向フ	敵大編隊北進中、基隆ニ向フ	グラマン一機、淡水上空旋回中	グラマン五機、七〇度方向ヨリ基隆港ニ向フ	敵十機ト交戦中	グラマン三機北進中	大編隊北進中、基隆島ニ向フ	敵四機、西ニ向フ	敵四機、東ヨリ西方ニ向フ	グラマン三十機、新竹上空方向不明

高 警	〃	蘇 澳	大 山 仔 鼻	〃	野 柳	高 警	野 柳	淡 水
一〃 二〃 三〃	一〃 二〃 三〃	一〃 二〃 三〃	一〃 二〃 三〃	一〃 二〃 三〃	一〃 二〃 三〃	一〃 二〃 三〃	一〃 二〃 三〃	一〃 二〃 三〃
測定方位ニ依ル敵機動部隊の九二五ノ位	角度一〇〇度三〇〇料	敵機動部隊ノ推定位置ヲ以テ起點	「グラマン」三機鼻頭角方面ヨリ基隆島ニ向フ	敵機十四機南下ス	「グラマン」五機二七〇度方位ヨリ基隆ニ向フ	敵機動部隊ノ推定位置ヲ以テ起點	「グラマン」七機基隆島上空	二五〇度二五〇料敵機動部隊近ツク

台 武	三〇五日		置 $\sqrt{}$ 三三度 $\sqrt{}$ 二二度 方位二六〇度距離五三敵 $\sqrt{}$ シキ編隊進行南 東進行中
尖 山 仔 鼻	一三五七		「グラマン」十三機二八〇度前角五度鼻頭角 方向 $\sqrt{}$ 二向 $\sqrt{}$ 七
淡 水	一四〇〇		「グラマン」九機南方三リ基隆上空 $\sqrt{}$ 三向 $\sqrt{}$ 七 (第二次空襲〇九三〇)機四艘三隻車轉沈商船 一隻火災銃撃ニ依ル見張所被害ナシ機 帆船三隻車轉沈
蘇 澳	一五〇〇		高警管区空襲警報第一種警戒警報解 除
高 警	一五二〇	一四二〇	緊急通詰制限解除
〃	一六三〇	一七四〇	本日ノ防衛状況及戦果改メテ通報セヨ
一七四〇	一七四〇		

高 警		台 武
二 三 〇		二 九 〇 五
		二 二 四 〇
台中ニ於ケル捕虜ノ言ヲ綜合セルニ本日台 セリ	〇七三〇ヨリ一四三〇ノ間主トシテ敵艦載機 進五〇〇機七次ニ亘リ本島ニ未裝飛行場 港湾船泊船渠ヲ銃爆撃ス (一) 撃墜 十五機撃破六機 (二) 綜合スルニ三日間未 撃ノ算大ナリ警戒ノ要アリ (三) 〇九〇〇乃 至二二〇〇ノ間沖繩ニ於テモ延五〇機未襲 セリ	明日日左ニ依リ警戒スヘシ (一) 各部隊ハ〇 五三〇以後總員配置各廳ハ右ニ準テ警戒 (二) 艦艇ハ防禦砲火及水際ニ集中シカヲ發 揮シ得ル如ク俟泊 (三) ヲハ分散機裝 (四) 防 空煙霧展張ヲ完成トコ

蘇澳	"	"	高警	〃	〃
〇八二〇	〇八〇〇	〇八〇〇	〇六〇〇日	二二三〇	二三三〇日
〇八二二	〇八二二	〇八二二	〇六二七		
グラマン四機北進中	岡山地区澎湖地区空襲警戒報告令	空襲警戒報告令	第一種警戒報告令	五〇〇屏東九〇度三五哩大型巡洋艦三隻 針路北進方六節其南方艦上機三〇機 ヲ認ム	湾ヲ空襲セル機動部隊ニ至三科アリ其ノ 一群ハ空母三隻戦艦三隻巡洋艦四隻其他 十隻ヨリ成リ一月五日又ハ六日頃迄台湾及 南西諸島空襲企圖セルモノ如シ 二五三〇敵機動部隊ト推定サル艦船ノ測 定位置二一三〇二三三〇五

陸偵	高警	基武	鼻頭角	〃	〃	万山推鼻	〃	野柳	鼻頭角	〃	〃
一四〇	一五〇〇	〇九〇〇	〇九〇〇	〇九〇〇		〇八五五	〇八四六	〇八三五	〇八三〇	〇八二五	〇八一八
一五二五							〇八五五	〇八三五	〇八三五	〇八二五	〇八三〇
敵機動部隊ノ位置台北ノ一四〇度三〇料	空襲警報及第一種警戒警報解除	基隆島方面ニ編隊音聞エ	大編隊基隆島ヨリ南東ニ向フ	敵操縦員港外浮標ノ處ニ漂流中	機雷ヲ投下セリ	港外浮標附近ニ個三〇度七〇〇米及三〇度距離六〇米ニ個〇度方向距離一〇〇〇米ニ敵機雷ヲ投下セリ	基隆島上空ヨリコクラン十機雷貴角ニ向フ	基隆方面ニ爆音聞エ	敵機十五機基隆ニ向フ	敵機十一機外十九機計三十機北進中	敵機十五機北進中

四 戦果及被害

(1) 戦果

台	武	一五三〇
〃	〃	一六二五
<p>有線緊急通信正常ニ解除 本日未襲セル敵機ハ延約三六〇機ニシテ昨 三日ト同シク飛行場其他軍事施設ヲ攻 撃ス戦果撃墜五機内不確実ニ機撃破ニ 機我方ノ損害極メテ軽微ナリ南西諸島 方面ニ却攻撃ヲ受ケタルモ撃墜三機内不 確実ニ機撃破ヲ我方ノ損害軽微ナリ</p>		

(2) 被害陸上方面

月	日	基隆地区	派遣隊	附属艇	記
三	日	撃墜 破三	撃墜 破三	四三返増艇特務艇	三三三号ハ鼻頭角沖ニ於テハ
四	日	〇	〇	〇	

五 消耗彈藥 陸上機銃砲台

計	四日	三日	日
四〇八六	一三四	三九五二	二十五
二一四三	二二〇	二〇二二	十三
八五	〇	八五	七
一三	〇	一三	七
			銃

月日	艇名	場所	機	肉	兵	人	其
三日	三三三號駆潜特務艇	鼻頭角沖	機銃子四枚 彈痕三〇	機銃子四枚 彈痕三〇	三五枚機銃砲台	二	
四日					破損	〇	

(3) 附屬艇

月日	全	壞	兵	死	傷	記
三日	〇	〇	兵器庫地等係 一折損	〇	〇	三三三號機銃砲台
四日	〇	〇	主計科司令部 未定度 十三枚機銃後 校留破損	〇	〇	大公子島防禦所

所見

一、當隊機銃隊員が殆ど昨年八月以降入團ノニ國ニ補ノ補充兵ニシテ最初ノ對空戰闘トシテハ好ク勇敢ニ奮戰セルモ射撃ニ對シテハ更ニ演練ヲ要スルモノアリ

二、戰闘中ニ於ケル敵情報皆ハ又通報ニ就テハ研究演練ノ餘地アルモノト認ム

(終)

0691

軍極秘

基防機密第三號ノ四

昭和三十年一月二十八日

基隆防備隊 戦闘詳報 第三號

昭和三十年一月九日

基隆防備隊

一月二十八日送

少佐 印

目次

一 形勢

二 経過

(1) 本隊並各機銃砲台

(2) 附屬艇

(3) 派遣隊

三 今洋報告及通報

四 戦果及被害

(一) 戦果

(二) 被害 (陸上方面)

(三) 被害 (附屬艇)

五 消耗彈薬 (陸上及附屬艇)

所見

昭和三十一年九月九日

對空戰鬪詳報

基隆防備隊

一、形勢

前日分米島、南都地区及中部、北部地区ニ亘リ敵大型機、偵察並ニ在支米空軍ノ誘導雷沙ニ要求及近海ニ敵潜水艦出沒等ニ鑑ミ近ク敵機動部隊及大型機ノ來襲必至ナリト認メ時ニ準備ヲ完成ス

（一）對空戰鬪要領及要領

時	要領	友軍情況摘要
0615	台北地区、東一機警戒警報	
0715	台北地区、空襲警戒一機侵入	
0815	台北地区、東一機警戒警報	
0830	台北地区、東一機警戒警報	
0845	台北地区、東一機警戒警報	
0900	敵機一機基隆島上空ニ侵入	

<p>〇八二七 第三十三日東丸基隆沖ニ於テ敵七機ト交戦被弾火災起故降基隆島南方海岸ニ墜坐機長以下戦死七名 行衛不明三名 重傷四名</p>	<p>〇九〇四 基隆島ノ埋撃ヲ</p>	<p>〇九〇五 野首半島方向ニ爆音聞ク</p>	<p>〇九〇七 爆音次第ニ近ク</p>	<p>〇九一〇 基隆港外ニ爆音聞ク(視界100米)</p>	<p>〇九一三 雲上ニリ煙表澤投下台弩船渠沖ニ落下炎上</p>	<p>〇九二〇 爆音聞ク</p>	<p>〇九二七 敵機社寮島上空侵入</p>	<p>社寮島各機銃砲台射撃開始</p>	<p>小笠原群島投下</p>	<p>〇九二八 北方海面ニ敵ノ浪</p>
--	---------------------	-------------------------	---------------------	-------------------------------	---------------------------------	------------------	-----------------------	---------------------	----------------	----------------------

〃	〃	一〇五七	一〇五五	一〇五五	一〇五六	〃	一〇五七	一四五三	一五〇六	一五〇八	一五〇〇	一五一六	〃	一五一八
		東方ニ撃退	敵機來襲基隆島上空東進	東進中ノ敵機社寮島ニ接近	社寮島機銃砲台射撃開始		爆音聞ユ進行方向不明	敵グラマン編隊二十機基隆島上空西進	敵グラマン二機社寮島沖西進	敵機三十二機港外ヲ旋回後東進機影ヲ没ス	敵機「グラマン」三機基隆ニ進入	各機銃砲台射撃開始	東方ニ撃退	撃破三機
			敵「グラマン」十一機基隆島上空西進											

(四) 附屬艇

一 九	〇七三〇	<p>第三二日東北八對潜哨戒並ニ澎湖佳嶼不時着機塔 兼員收容作業ニ從事中基隆島三四度ニ哩ニ於テ 敵グラマン五機來襲之ト交戦互撃ニ努メタルモ 更ニ二機加ハリ計七機殺到互復銃爆撃ヲ受ケ 遂ニ後部爆雷ニ被弾火災舵故障航行不能ニ陥 レリ故ニ基隆島西方海岸ニ擱坐ス 艇長以下六名戦死 行衛不明三名重傷四名</p>
〇九一〇	<p>第三六號駆潜特務艇馬持根電令作第五號ニ 依ル敵潜掃蕩並遭難者救助ニ從事中新竹 州桃園郡大園庄竹田沖ニ於テ敵機ニ機來襲之ト 交戦中後部爆雷ニ被弾火災他ノ爆雷ニ延焼シ 遂ニ舵故障ニ陥リ殊ニ船體木造ニシテ火勢</p>	

雨一	九	〇九四〇	熾烈消火不能トナレルヲ以テ全中ニ欄坐ス 艇長以下十名戦死行衛不明九名
<p>錦水丸馬特根電令依第五號ニ依リ對潜掃蕩 並ニ救難作業ニ從事中白砂燈台ノ北八度 三七哩ノ地点ニ於テ敵ノグラマンニ機ノ來襲ヲ 受ケ之ト交戦敵ノ反復銃爆撃ノ為メ後部爆 雷ニ被弾火災ヲ起シ舵故障ニ陥リ後部兵員 室ニ浸水セルヲ以テ全陸岸ニ欄坐ス 艇長以下一名戦死行衛不明一名重傷二名 軽傷三名</p>	<p>揚梅丸蘭洋丸ニミミニ三八二四三號駆潜特務艇 ハ基隆港内ニアリテ本隊ト共ニ交戦ニ從事 擊墜二機 擊破二機</p>		

469T

派遣隊

三 令達報告及通報

<p>二 九 〇 八 四 〇</p>	<p>蘇澳特設見張所敵機延二八四機ト交戦互撃ニ 努ムルモ連續兵舎及陣地ヲ銃爆撃ス 指揮官和泉少尉胸部貫通機銃創重傷(機銃 員一名戦死)電探兵器一都破損</p>		
<p>商 通 〇 八 〇 二 〇 日</p>	<p>〇 七 五</p>	<p>左記情況ニ依リ在支米B二九此處ニ三日 中ニ臺灣方面來襲ノ算大ナリ 一 台湾海峡ニテ二〇三〇出現セル潜水艦ハ昆 明宛作戰特別緊急信及緊急信ノ氣象 電報ヲ送信セリ 一 七日現在成都地区B二九約八〇機駐留</p>	<p>事 種 別 處 置</p>

高警	台軍司	高警
〇九〇〇二〇〇二五	二二一五二四五	〇九〇〇二〇〇二五
<p>敵水上艦艇測定概位九三〇二三三〇各艦艇 ハ九日〇五三〇ヨリ敵機動部隊ノ空襲ニ對</p>	<p>成都ハ全局宛本八日二〇〇〇ヨリ明九日〇ニ 〇〇迄ノ誘導電波ヲ要求シツアリBニ九 歸印セザル狀況ニ鑑ミ警戒ヲ要アリ</p>	<p>未ダ歸印ノ狀況ナシ 艦上機戰爆聯合ニ四機來襲セリ ニ台湾海峡ニテ昨七日夕刻敵潜水艦ハ昆明 宛作戰特別緊急信及氣象電報ヲ送信 セリ 三七日現在成都地区附近ニBニ九約ハ〇機 在ル情況ニ鑑ミ臺灣方面特ニ嚴戒ヲ要ス</p>
電話	電話	電話

台軍司	〇〇〇〇	〇五〇〇	<p>台湾全地区第三種防戦警報發令</p>	電
			<p>四 防空煙幕展張準備ヲ完成</p> <p>三 飛行機ハ當分必要ナルモノ外分散擬裝</p> <p>砲火ヲ發揮スル如ク俟泊ス</p> <p>三 各艦艇ハ防禦砲火ノ最寄り又ハ山際ニ集中</p>	
			<p>二 各部隊ハ〇五三〇以後總員配置各方ハ右</p> <p>準シ警戒スベシ</p>	
	〇〇〇〇	〇二〇〇	<p>依リ警戒スベシ</p> <p>鷺鑿鼻ノ三五度ニ〇哩ニ測定明九日左ニ</p>	
			<p>本日ニ二五敵艦艇(潜水艦ニアラザルコト確實</p> <p>砲火ヲ發揮シ得ル如クス</p> <p>防禦砲火ヲ最寄り又ハ山際ニ成ルベク集中</p> <p>シ左ニ依リ警戒スベシ</p>	

万人推魚灯	鼻頭角	蘇澳特見	淡水特見	尖山仔鼻	野柳特見	三日東北	〃	台軍司
〇〃 八二〇	〇〃 七五三	〇〃 七三〇	〇〃 七二六	〇〃 七〇五	〇〃 七〇一	〇〃 六五五	〇〃 六三七	〇〃 六一五
	〇七五三	〇七三三	〇七二八	〇七〇六	〇七〇二		〃	〇六三八
二〇度方向ニ敵機漁船攻撃中	敵機五機南東ヨリ基隆ニ向フ	敵機五機進行方向北	方位三〇度距離六〇料「グラマン」編隊近ク進行方向西	敵味方不明爆音聞ユ鼻頭角方向進行方向西	方位三〇度距離一三〇料敵味方不明編隊機進行方向南感四	途ニ就ク推定位置基隆ノニ五哩	敵ノ空襲ヲ考慮シ收容ヲ取止メ急遽歸	台湾全地区空襲警報發令
								警報發令

野柳	野柳	鼻頭角	三日東丸	野柳	高警	野柳	野柳
〇〇八二〇	〇〇八一七	〇〇八二二	〇〇八一〇	〇〇八一〇	〇〇八〇〇	〇〇九〇二	〇〇八〇〇
駁潜艇八〇度方向ニテ火災「グラマン」攻撃中	基隆島上空「グラマン」四機激戦中	社寮島間通過	基隆島左二〇〇米爆彈投下敵機基隆島	判明セルモノ戦死六名重傷三名	基隆島上空敵機三機旋回中	有線緊急通詰制限	敵二機東方ニ駁潜艇ト交戦中
				敵二機基隆上空			
				「グラマン」三機基隆島上空ヨリ基隆方向ニ向テ			
				〇八〇基隆島ノ三四度ニ〇哩ノ地点敵五機			
				ト交戦戦果不明爆彈命中シ舵故障ヲ爲			
				メ運轉自由ナラス基隆島ニ坐礁ス現在迄ニ			

万人推鼻 灯台	〇八二五							監視船(三十四東九ラシキモノ)消火船影見ユ
〇八二五								敵機三機北東ヨリ基隆ニ向フ
〇八二五								送信機一台破損
〇八二五								電話
〇八二五								十二吋望遠鏡破損 指揮官重傷
〇八二五								敵機三機灯台ニ〇度六〇〇〇
〇八二五								社寮島西砲台ニ爆彈投下
〇八二五								敵機未蒙ス我ヨリ方位三三〇度三十四米爆聲ニ 個投下セリ
〇八二五								方向不明水中爆發音十数發聴知ス感五
〇八二五								三三〇ラシキモノ侵入外港ニ爆彈投下船舶被害 ナシ
〇八二五								當所東方ヨリ編隊爆音基隆方面ニ向フ
〇八二五								敵機三機東上南東五〇〇〇東方ニ遁走ス

野柳	野柳	野柳	野柳	野柳	野柳	野柳	野柳	野柳	野柳
〇九三六	〇九三六	〇九三六	〇九三六	〇九三六	〇九三六	〇九三六	〇九三六	〇九三六	〇九三六
敵機ニ機基隆島ヨリ富貴角ニ向フ	敵機ニ機基隆島ヨリ富貴角ニ向フ	敵機ニ機基隆島ヨリ富貴角ニ向フ	敵機ニ機基隆島ヨリ富貴角ニ向フ	敵機ニ機基隆島ヨリ富貴角ニ向フ	敵機ニ機基隆島ヨリ富貴角ニ向フ	敵機ニ機基隆島ヨリ富貴角ニ向フ	敵機ニ機基隆島ヨリ富貴角ニ向フ	敵機ニ機基隆島ヨリ富貴角ニ向フ	敵機ニ機基隆島ヨリ富貴角ニ向フ
敵機ニ機富貴角方向ヨリ四五度方向ニ向レ	敵機ニ機富貴角方向ヨリ四五度方向ニ向レ	敵機ニ機富貴角方向ヨリ四五度方向ニ向レ	敵機ニ機富貴角方向ヨリ四五度方向ニ向レ	敵機ニ機富貴角方向ヨリ四五度方向ニ向レ	敵機ニ機富貴角方向ヨリ四五度方向ニ向レ	敵機ニ機富貴角方向ヨリ四五度方向ニ向レ	敵機ニ機富貴角方向ヨリ四五度方向ニ向レ	敵機ニ機富貴角方向ヨリ四五度方向ニ向レ	敵機ニ機富貴角方向ヨリ四五度方向ニ向レ
野柳岬ニ旋回中	野柳岬ニ旋回中	野柳岬ニ旋回中	野柳岬ニ旋回中	野柳岬ニ旋回中	野柳岬ニ旋回中	野柳岬ニ旋回中	野柳岬ニ旋回中	野柳岬ニ旋回中	野柳岬ニ旋回中
只今ノ飛行機野柳ヨリ引返シ基隆ニ向フ	只今ノ飛行機野柳ヨリ引返シ基隆ニ向フ	只今ノ飛行機野柳ヨリ引返シ基隆ニ向フ	只今ノ飛行機野柳ヨリ引返シ基隆ニ向フ	只今ノ飛行機野柳ヨリ引返シ基隆ニ向フ	只今ノ飛行機野柳ヨリ引返シ基隆ニ向フ	只今ノ飛行機野柳ヨリ引返シ基隆ニ向フ	只今ノ飛行機野柳ヨリ引返シ基隆ニ向フ	只今ノ飛行機野柳ヨリ引返シ基隆ニ向フ	只今ノ飛行機野柳ヨリ引返シ基隆ニ向フ
新竹ニ〇度方向ノ米味方輸送船一隻坐礁	新竹ニ〇度方向ノ米味方輸送船一隻坐礁	新竹ニ〇度方向ノ米味方輸送船一隻坐礁	新竹ニ〇度方向ノ米味方輸送船一隻坐礁	新竹ニ〇度方向ノ米味方輸送船一隻坐礁	新竹ニ〇度方向ノ米味方輸送船一隻坐礁	新竹ニ〇度方向ノ米味方輸送船一隻坐礁	新竹ニ〇度方向ノ米味方輸送船一隻坐礁	新竹ニ〇度方向ノ米味方輸送船一隻坐礁	新竹ニ〇度方向ノ米味方輸送船一隻坐礁
〇度方向敵ノ機鼻頭角方向ニ向フ	〇度方向敵ノ機鼻頭角方向ニ向フ	〇度方向敵ノ機鼻頭角方向ニ向フ	〇度方向敵ノ機鼻頭角方向ニ向フ	〇度方向敵ノ機鼻頭角方向ニ向フ	〇度方向敵ノ機鼻頭角方向ニ向フ	〇度方向敵ノ機鼻頭角方向ニ向フ	〇度方向敵ノ機鼻頭角方向ニ向フ	〇度方向敵ノ機鼻頭角方向ニ向フ	〇度方向敵ノ機鼻頭角方向ニ向フ
四五度高度ニ〇〇米敵爆撃機一機斗機一西	四五度高度ニ〇〇米敵爆撃機一機斗機一西	四五度高度ニ〇〇米敵爆撃機一機斗機一西	四五度高度ニ〇〇米敵爆撃機一機斗機一西	四五度高度ニ〇〇米敵爆撃機一機斗機一西	四五度高度ニ〇〇米敵爆撃機一機斗機一西	四五度高度ニ〇〇米敵爆撃機一機斗機一西	四五度高度ニ〇〇米敵爆撃機一機斗機一西	四五度高度ニ〇〇米敵爆撃機一機斗機一西	四五度高度ニ〇〇米敵爆撃機一機斗機一西
敵機ニ機鼻頭角北西ニ〇〇米撃墜機炎上中	敵機ニ機鼻頭角北西ニ〇〇米撃墜機炎上中	敵機ニ機鼻頭角北西ニ〇〇米撃墜機炎上中	敵機ニ機鼻頭角北西ニ〇〇米撃墜機炎上中	敵機ニ機鼻頭角北西ニ〇〇米撃墜機炎上中	敵機ニ機鼻頭角北西ニ〇〇米撃墜機炎上中	敵機ニ機鼻頭角北西ニ〇〇米撃墜機炎上中	敵機ニ機鼻頭角北西ニ〇〇米撃墜機炎上中	敵機ニ機鼻頭角北西ニ〇〇米撃墜機炎上中	敵機ニ機鼻頭角北西ニ〇〇米撃墜機炎上中

天山仔鼻	二〇三		敵十六機、基隆島上空ヨリ鼻頭角上空ニ向フ
〃	二〇九		基隆島ヨリ十九機、南下中内十二機、交轉ス
鼻頭角	二一〇		基隆島ヨリ十六機、南下中内十三機、交轉、南東ニ過走
〃	二一三		敵機三機、北西ヨリ東南ニ向フ
野	二二六		敵機三機、四五度方向ヨリ鼻頭角ニ向フ
鼻頭角	二二七		敵機三機、基隆ヨリ南東ニ向フ
高	二四〇		敵機動部隊(推定)位置三二二〇—三三〇〇
水	〃		方位六〇、距離三、計大型機旋回進行方向不明感五
要	二四〇		一二〇〇迄ニ來襲セル艦載機ハ、延約二〇〇機此ノ位置間〇九二五及一〇三〇、三回ニ亘リ、B二九(機数不明)來襲セルモ、基隆港外ニ投擲脱去セリ

淺水	一四二〇	四三八	一五〇度一〇〇料花達港方二回ヨリ續々縮隊進マ
野柳	一四二五	四三八	三五〇度六六料小縮隊北進感五
蘇澳	一四二五	一四二〇	目標二二〇度八〇料ニ於テ發進中
淡水	一四二〇	一五〇八	一七〇度七〇料縮隊現ル
金山	一四一五	九〇度三五料大縮隊進キ旋回中今試ニ	
南寮	一四一〇	一四一〇	敵機六機ヲ撃退遂ニ交戦中
南頭角	一四一〇	一四一〇	戰果改メテ知ラセ
〃	一四一〇	一四一〇	敵機六機縮隊基隆島上空旋回中
〃	一四一〇	一四一〇	敵機八機基隆ヨリ南東ニ向フ
〃	一四一〇	一四一〇	三五度一〇〇〇米ニ海防艦沈没
〃	一四一〇	一四一〇	敵機三八機基隆ヨリ南東ニ向フ

9041

四 敵 隊 之 動 向

(1) 敵 隊

日 付	時 間	地 区	事 件
九 月 二 日	九 時 二 〇 分	海 防 艦 隊	敵 機 三 十 三 機 燈 台 攻 撃 中
九 月 二 日	九 時 二 〇 分	海 防 艦 隊	海 防 艦 沈 没 位 置 三 三 十 名 漂 流 中
九 月 二 日	九 時 二 〇 分	海 防 艦 隊	三 招 船 邊 台 へ 去 ル 約 三 十 哩 (八 島 山 島 沖 合) 貨 物 船 ラ シ キ モ ノ 二 隻 炎 燒 シ ツ ヲ ア リ
九 月 二 日	九 時 二 〇 分	海 防 艦 隊	台 湾 本 土 空 襲 警 報 第 三 種 警 戒 警 報 解 除 第 二 警 戒 部 隊
九 月 二 日	九 時 二 〇 分	海 防 艦 隊	明 十 日 伯 令 第 十 七 號 三 依 り 警 告 収 入 へ ン
九 月 二 日	九 時 二 〇 分	海 防 艦 隊	敵 機 隊 部 隊 八 機 開 火 撃 ツ ン 企 圖 シ ア ル モ ノ ノ 如 シ
九 月 二 日	九 時 二 〇 分	海 防 艦 隊	特 三 〇 〇 〇 頃 警 戒 フ 要 ス

日	九日三	五日七	三〇	〇	
日	二十三日	十三日	十七日	小銃	事

九日	九日	九日	九日	九日
空軍三三式戦闘機	白雲水	基盤島	基盤島	基盤島
新竹州	白雲台	基盤島	基盤島	基盤島
火災	火災	火災	火災	火災
生	生	生	生	生
行不	行不	行不	行不	行不
九〇	一一	三七	四	四
〇	四	四		

(2) 被害 (附 略 録)

九日	九日	九日
〇	〇	〇
〇	〇	〇
電探兵器一軒被損	打針折損 四	打針折損 四
一	〇	〇
一	〇	〇
蘇澳特設見張所	中谷防空隊	汐見丘後銃砲台
		記
		事

所見

當隊ノ任務上對潜掃蕩哨戒等空襲下ニ附屬艇ノ使用益々頻繁ヲ加フル
一部ノ船艇ヲ除キ殆十三粒機銃ヲ裝備シ居ル狀態ニ付少クトモ二十五粒機
銃ニ基程度裝備ヲ要ス

終